

瓊水

けい すい

瓊水とは、玉のように美しく清らかな水のことで、田平を潤す、玉のように清らかな心をもつ子を育てていきます。

校長 田崎俊一郎



6月に向けて

雨入りも特別な感じがします。

さて、5月もいよいよ最終週です。今週が過ぎると6月に入ります。学校では「6月危機」「魔の6月」と言われることもあり、学級経営が難しい時と言われます。季節の変わり目、梅雨による日照時間変化や学校行事等、その要因とされるものはいくつかあります。根拠として挙げられることにいじめの認知件数、事故や怪我の発生件数があります。どちらも年間で一番発生件数が多くなるのが6月だと言います。必ずそうなる言い切れませんが、6月に向けて十分に備えていく必要があります。

北小学校でも、時間にルーズになったり、整理整頓ができていなかったり、騒がしく生活したり、子どもたちの行動で気になる面が見られます。これまでの2か月の学校生活の中で、私たちが見落としていること、気付いていないことがあるのだと考えます。6月は、心を見つめる教育週間が位置づけられていますが、6月を迎えるその前に、これまで以上に子どもたちの様子をしっかりととらえていきます。

避難訓練

5月26日(月)延期していた避難訓練を実施しました。今回は、火災発生を想定した避難訓練です。

給食センターで火災が発生したことを想定し、訓練を行いました。今回のねらいは、火災発生時の避難経路を確認すること、学校での避難の仕方を具体的に理解することでした。子どもたちへは学校での避難の約束として、“おさない・かけない・しゃべらない・もどらない…おかしもの約束”を指導しています。どれも集団で避難をする際には大切なことですが、中でも、しゃべらずに避難することが子どもたちには難しいようです。おしゃべりをしていると、どこで火災が発生しているか、どこに避難をすればよいか等の避難指示が聞こえない場合があります。これは自分が避難できないばかりか、しゃべっていない他の人へも避難指示が届かず、逃げ遅れることにもつながります。今回の避難訓練でもざわざわ感が出ていました。その他、反省点も多く見られたので、再度徹底を図りたいと思います。

火事はいつ、どこで発生するか分かりません。今年2月に発生した岩手県大船渡市でおきた山林火災では、多くの方が被災され、現在も復興に向けて努力されています。ニュースの中では、山林に広がる炎と大量の煙、そして民家に迫る炎の様子はテレビを通して、恐ろしさを感じるものでした。火災だけではなく、日頃から災害に備えておくことの大切さを痛感しました。北小でも危機管理マニュアルをもとに、もう一度安全管理についての意識を高めていきます。



教育実習

福岡こども短期大学より、本校に養護教諭の教育実習生が来ました。[]さんです。[]さんは本校の卒業生です。当時の担任の先生も現在北小に勤務されていると

のことで心強く感じられているようです。懐かしい北小学校で3週間、学校での保健指導の在り方について学びます。どうぞよろしくお願いいたします。